

# リトミック

(つづき) リトミックは、子どもたちに必要な基礎能力の掘り起しと、それらのパランスのとれた伸長を目的とし、音楽に合わせて体を動かすことで身体的・感覚的・知的に優れた子どもたちの成長を目指して行われるものです。

今回はお子様だけでなく保護者の方も一緒に体を動かしました。みんなそろってご挨拶から始まり、お母さんの足の上でジャンプしたり、船のように体を揺すったり、ギューと抱きしめたり、体をさすり合ったりする中で親子のスキンシップを楽しみました。子どもたちだけでなく、お母さんたちからも大きな笑い声や歌声が聞かれ、とてもにぎやかな体験会になりました。

参加されたお母さん方からは「音楽に合わせると、お片付けもできちやうだね。」「うちの子、あんなこともできたんだ。」「などの声が聞かれ、子どもたちの新しい一面を見付けることができた様子でした。

# 愛の「白玉」募金

飯山市長と市老人クラブ連合会(市老連)の懇談会のあと、市老連が毎年行っている「二円玉募金」の贈呈式がありました。



岸田会長(右)に手渡す小林老連会長

「湯の入荘」の改修経費の一部にと、小林常男・市老連会長から、湯の入荘を管理運営する飯山市社協の岸田会長に15万1684円が手渡されました。この浄財は、飯山市の高齢者の皆様のために、大切に使用させていただきます。



# キレない...

2月7日(土)に、木島児童館で「お手玉作り」をしました。

これは、「飯山を愛し笑顔があふれる飯山っ子育成事業」のひとつで、昨年の秋に行った「ずし玉収穫」で採ったずし玉を使って行いました。木島地区更生保護女性会の皆さんが来て、一緒に作ってくださり、全部で百二十個のお手玉を作りました。子どもたちが袋に入れて、それを大人が縫う、という作業でしたが、次第に慣れてく

ると子どもたちも縫えるようになりました。

お手玉には、いろいろな効用があるをご存知でしょうか。

例えば、右手と左手が別々の動きをし、なおかつ複数の玉を扱うことによつて脳が鍛えられます。これは恐らくピアノなど楽器の演奏と同じですね。

また、視覚的にも、3D(三次元)の動きをするものを目で確認し、確かに受け取る、ということにより、脳の中の前頭葉という部分と、その両側にある「四十六野」という部分を刺激します。この「四十六野」という部分は、感情を司る部分で、そこを刺激することによつて感情が豊かになり、「キレ」にくくなるそうです。

ちなみに、今の子どもは1年365日のうち平均して50日をゲームをして過ごすのだそうです。テレビ(ゲーム)は2D(二次元)ですから、脳への影響は、お手玉の効用とは比較になりません。むしろその悪影響の方が知ら



今回参加してくれた子どもたちからは、「楽しかった」「難しかった」「今は2つでしかできないけれど、3つ使っていけるようになるたい」という声がかかれました。

また、大人からは、「お手玉の時に歌う、歌をいつかまとめた」という声もありました。そして3月7日(土)には、このお手玉を使ってみんなで遊びました。

皆さんも、お手玉をお子さんやお孫さんと一緒にやってみてはいかがでしょうか。

# ストラップと映画

3月28日(土)に、福祉センターで写真ストラップ作りと映画鑑賞会を行います。

この写真ストラップ、ある児童クラブで父の日のプレゼントに作って渡したところ、嬉し涙を流したお父さんがいました。また、お母さんたちから、「なんで母の日にやってくれなかったの」という問合せが殺到したとか。

お父さん、お母さん、今度はお子さんと一緒に作ってみませんか？

なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。

# 【ケータイストラップ】

- ・時間：午後1時～
  - ・申込：社協まで。定員20組。
  - ・費用：300円(1個あたり)
  - ・持物：写真(25mm×18mm)※
- 【映画上映会】
- ・時間：午後2時～
  - ・費用/申込：不要
  - ・内容：「子ぎつねへん」

※入れたいの部分のみ。切り取り器あります。

# 訂正とお詫び

2月発行の「赤い羽根だより」に間違いがありましたので、ここに訂正とお詫びを申し上げます。

誤	→ 東小学校 学校募金	4,018円
正	→ 東小学校 学校募金	7,109円
誤	→ 秋津小学校 学校募金	不記載
正	→ 秋津小学校 学校募金	8,896円
誤	→ 瑞穂地区個人大口募金件数	550件
正	→ 瑞穂地区個人大口募金件数	21件

ご協力いただいた児童の皆さんたちと瑞穂地区の方々には、大変申し訳ないことをいたしました。本当に失礼しました。

今年も10月1日から「赤い羽根共同募金」がありますので、どうかまたご協力をお願いいたします。

# 歌

飯山 丸山 昌

・ 厳冬に サヤサヤ音せる 樹樹の間に  
スターダスト流るる 静寂の森

・ 新雪を 踏みしむ音も 新しく  
家路急ぎし 我が子の足音

・ 大雪に 樞の陰に 身を寄せし  
小鳥の囁り 今日は何こえぞ

飯山 石沢 タツエ

・ かけちがう ボタン一つ 今日も  
食卓に 春の香りや ふきのとう

・ 常盤 金井 幸子

・ 雪とけて ふきのとう 顔を見せ  
今日は雪姿 たくれけり

・ 桜草 可憐な花を 咲かせ出し  
ひと足早く 春を我が家に

# 声

満月と花札

中秋の名月は、日本中が供え物あり、手を合わせて拝む人ありだが、私は何故か十一月の満月に心ひかれる。昨年の十一月の満月は、生涯忘れ得ぬ満月となった。

というのは、子ども達に花札遊びを教えたのがその頃だったこともあったが、この日の夕方温暖化のお陰(?)か暖かく、子どもたちは暗くなる迄、外を走りまわり、遊んでいた。澄み切った東の山からまん丸い月が上がりはじめ、その明かりに気づいた数人が息を切って走ってきて、「先生、花札の坊主と同じお月さんが出てきた!」と教えてくれたのだ。

その月を見上げ、私は心の中でそつとつぶやいた。「そんな風に見てくれている子ども達に、お月さんがニッコリ笑ってくれているに違いない」と。

そして、こうして児童館の子どもたちと関わられたことの

幸せをじっくりかみ締めた十一月の満月でもありました。(児童館パート職員)

# 編集後記

上の「声」にも出てきていますが、温暖化のせい、飯山(地球全体?)の自然が少しずつズレてきているような気がしています。私の住む秋津地区では、2月の始めに、すでに「ふきのとう」が顔を出しています。天ぷらにして食べると最高なのですが、ちよつと早すぎる気がします。でも美味しいのがある。◆今年の「見守り」として、今年「高社」に3回降る「前に里に降ってしまい、しかも寡雪」◆「年によって違う」という声も聞きますが、さすがに2年連続で寡雪だと少し心配です。来年寡雪になったら、なんて考えると...◆諸行無常※とはいえ、このように「知恵」は、もうしばらくは有効であつて欲しいと願っています。(編集者 木鋪)

※世の中的一切のものは常に変化し生滅して、永久不変なものはないということ。